

第2期幡多地域アクションプランの進捗状況等について（案）

H24. 8. 27

幡多地域本部

1 地域アクションプランの第1四半期の実施状況（総括）

(1) 総評

- ・幡多地域のアクションプラン（41 案件）は、当初計画に沿って概ね順調に進捗している。
- ・第1期からの継続案件については、特に農林水産物の加工品等の取組に関して、今後、地域の基幹産業として大きく成長していくには、販路のさらなる拡大等の課題はあるものの、販促活動の強化により、販売量の増加がみられるものがある。また、産業振興推進総合支援事業費補助金を活用して、事業規模や販売量の拡大に取り組んでいるものもある。
- ・第2期からの新たな案件（7 件）については、事業実施が困難となり削除となるものが1件あるものの、その他の案件については、1件が産業振興推進総合支援事業費補助金の採択を受けて円滑に事業がスタートするなど、計画どおりに事業が進んでいる。

(2) 具体的な動き

①地域の重点的な動き

重点的な取組	取組状況（結果、成果を含む）・課題と今後の対応
<p>安定した農業経営体づくりと地域に根ざした有望品目づくり</p> <p>■No. 1 水稲と露地野菜を基幹とした水田農業の担い手育成（幡多地域全域）</p> <p>■No. 3 三原村農業公社を核とした農業支援システムの構築（三原村）</p> <p>■No. 6 有望品目への転換を含めた大方南部地域の産地再生（黒潮町）</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大規模志向農家ネットワーク化の準備と有望品目の検討 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>管内には大規模農家の事例が少ない ⇒対象者を絞り込み、研修会等の開催</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急雇用事業(27,042千円)で11名の雇用 ・県ふるさと雇用事業(18,884千円)で6名の雇用 ・販路拡大に向け県産業振興アドバイザー制度の活用 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>更なるユズ産地の拡大 ⇒第2期ユズ産地化計画策定中(H23:28ha→H27:50ha)と青果出荷率の向上</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まとまりのある園芸産地活性化事業による、点滴灌水実証ほ2戸（カスミソウ・ニラ）の設置 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>水源地(用水量)の調査及び確保 ⇒地権者協議と揚水方法(経費)の検討</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 20 直七の生産、加工、販売の促進(宿毛市)</p> <p>■No. 27 栗からはじまる西土佐地産外商プロジェクト(四万十市)</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと雇用(3,089千円)で1名の雇用 ・取引企業者数64社(商談中含む) ・新商品の開発中(アルコール飲料) <p>[課題と今後の対応]</p> <p>搾汁施設の稼働率向上 ⇒直七以外の搾汁を実施</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの県外企業に加え、県内企業への積極的な営業活動の結果、6月末現在4tを受注 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>原材料の確保 ⇒集荷及び買い支えによる確保数量の増</p>
<p>森林資源の活用促進</p> <p>■No. 7 森の工場・間伐の推進(幡多地域全域)</p> <p>■No. 8 バイオマスを利用した木材の乾燥施設等の導入(四万十市)</p> <p>■No. 9 「四万十の家」と地域産ヒノキの販売の推進(四万十市)</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成23年度までに22工場認定 ・平成24年度に4工場の申請ヒアリングを実施 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>木材価格の低下(特に檜材) ⇒作業効率の向上(作業道路整備、特殊機械の導入)</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西土佐森林組合の中核森林組合認定に向けた準備 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>協同組合方式では国の補助事業の導入が困難なため、森林組合、個々の事業者単独による新たな事業展開 ⇒他の補助事業の活用を検討中</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四万十市産材利用促進事業の継続実施(7/31現在受付件数8件) ・ふるさと雇用によりモデルハウス管理者1名の雇用 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>四万十ヒノキのPR強化 ⇒四万十ヒノキブランド化協議会での検討及び各種イベント参加</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 10 町内の持続可能な山林資源を活用した製炭事業(大月町)</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業振興総合補助金 18,261 千円が採択(製炭窯 4 基分) ・県ふるさと雇用(5,178 千円)で 1 名の雇用 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>製炭事業者の所得向上 ⇒製炭技術の向上による炭の品質アップ 下級品の販路拡大(四国内で直販)</p>
<p>安定した漁業生産を目指す取組</p> <p>■No. 19 大月町種苗生産施設活用による県内産養殖種苗のシェア拡大(大月町)</p> <p>■No. 33 カツオ文化のまちづくり事業(黒潮町)</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業振興総合補助金 13,199 千円で、マダイ、シマアジ等の海上育苗施設を整備中 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>カンパチの種苗技術確立 ⇒県の水産試験場と連携して技術確立を目指す</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新荷捌・鮮度維持システムの導入及び水揚奨励金の実施により水揚実績をアップ <p>[課題と今後の対応]</p> <p>カツオ文化のまち佐賀の周知 ⇒メディアを活用したPRや町内外イベントでのPR活動</p>
<p>地域産物を活用した6次産業の振興</p> <p>■No. 11 地域活性化のための魚加工・販売体制の強化・推進(宿毛市)</p> <p>■No. 12 宿毛湾を中心とする地域水産物の流通・加工体制の推進(宿毛市)</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鮮魚加工商品(冷凍フィレ)の製造販売 ・高知県内外の病院、学校給食用等に営業を実施(現在の取引先 36 社) <p>[課題と今後の対応]</p> <p>主力商品であるキビナゴバラ凍結の販売量の増 ⇒販促活動の強化による新たな販路の確保</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鮮魚加工商品(冷凍フィレ等)を系列チェーン店に出荷 ・春の鯛フェアで宿毛市をPR <p>[課題と今後の対応]</p> <p>従業員の確保 ⇒ハローワークで募集中</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 13 民間企業との連携による水産物の販路拡大(宿毛市・大月町)</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鮮魚を使用した加工(惣菜)商品の製造出荷が順調 ・提携先店舗に加えて、新たなチェーン店にも取引開始 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>原魚の安定確保(安定価格にて)</p> <p>⇒すくも湾漁協がH24整備予定の急速冷凍施設・冷凍庫の活用</p>
<p>■No. 20 直七の生産、加工、販売の促進(宿毛市)(再掲)</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと雇用(3,089千円)で1名の雇用 ・新規取引先と商談中 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>搾汁施設の稼働率向上</p> <p>⇒直七以外の搾汁を実施</p>
<p>■No. 21 地域の素材を活用した「おいしいもの」づくり(宿毛市)</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の食材を使用した新商品の開発 ・「ハレノヒプリン」がモンドセレクション銅賞受賞 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>販売促進</p> <p>⇒県内量販店での催事参加</p>
<p>■No. 23 地域資源を統括したプログラム構築によるしみずの元気再生事業(土佐清水市)</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県外催事での販促PR活動(東京都1回、大阪1回、県内2回) ・新商品の開発 ・直営レストランの運営継続(H22.1月～) ・無印良品(Found MUJI)との取引開始 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>売れ筋商品の販路拡大</p> <p>⇒競合する商品が多い中での販路拡大を行っていくための戦略づくり</p>
<p>■No. 25 地元農産物を使った商品開発事業(四万十市)</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新商品の開発及び販促活動 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>販路の拡大</p> <p>⇒各種イベント等でのPR</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 27 栗からはじまる西土佐地産外商プロジェクト(四万十市)(再掲)</p> <p>■No. 32 黒潮印の商品開発(黒潮町)</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの県外企業に加え、県内企業への積極的な営業活動の結果、6月末現在4tを受注 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>原材料の確保 ⇒集荷及び買い支えによる確保数量の増</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商品の企画、開発から販売までを支援する町単独補助事業の創設 ・黒潮印ブランド認証制度の制定 ・すなびてんぼ開設(6/21)(砂浜美術館のウェブサイトでイベント情報やスポーツ施設、特産品情報等を発信するとともに販売も行うサイト) <p>[課題と今後の対応]</p> <p>特産品開発推進協議会の売上増 ⇒新商品の開発によるアイテムの充実</p> <p>主力商品である黒糖やらっきょう漬けの販路の拡大 ⇒黒潮印ブランド認証による商品の高付加価値化</p>
<p>地域再生への総合的な取組</p> <p>■No. 22 土佐清水市地域再生計画(大岐地区等の開発計画)(土佐清水市)</p> <p>■No. 28 西土佐拠点ビジネス推進事業(売り出せ西土佐プロジェクト)(四万十市)</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原魚取扱量が前年同時期と比較して10%の増 ・食品の販路拡大(10店舗の増) <p>[課題と今後の対応]</p> <p>食品の更なる販路拡大 ⇒新商品の開発及び販促活動</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急雇用2名(既存直販市) ⇒うち1名が商人塾(臼井コース)受講予定(7/11~6回) ・道の駅検討会及び整備幹事会の発足 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>基本計画の策定 ⇒9月策定に向けて議論開始</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 29 拠点ビジネスの推進「大月町まるごと販売事業」(大月町)</p> <p>■No. 34 佐賀地区の地域資源を活用した拠点ビジネスの推進(黒潮町)</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレハブ冷凍庫、液体充填機械の導入(リース) ・塩麴の商品化 ・無印良品(Found MUJI)との取引開始 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>外商の拡大 ⇒町内の他事業者と「大月まるごと販売プロジェクト」を立ち上げ連携して販売促進</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・拠点施設となる道の駅建設予定地の用地買収完了(H24.5月末) <p>[課題と今後の対応]</p> <p>運営体制、施設内容の決定 ⇒道の駅設立準備委員会で検討</p>
<p>滞在型・体験型観光の推進</p> <p>■No. 36 幡多広域における滞在型・体験型観光の推進(幡多地域全域)</p> <p>■No. 37 竜串観光再発見事業(土佐清水市)</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育旅行の受入(小学校4校、中学校5校、高校2校 計1,329人) ・NPOグローバルキャンパス理事長 大社充氏を組織強化アドバイザーとして受入(月2回ペースで来社) ・荒天時受入が可能な幡多公設市場での体験プログラムの整備、受入開始(5/30:55人、6/7:17人) ・緊急雇用1名(事務局員) <p>[課題と今後の対応]</p> <p>受入客の増及び事務局体制の充実 ⇒観光人材育成塾への参加及び一般向け旅行商品の開発と販促活動の充実 現在不在となっている事務局長に十分なスキルを有する人材の確保</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NPO 竜串観光振興会による海のギャラリーの管理運営(継続した取組) ・奇岩をテーマとした観光客誘致活動(ポスター・チラシの作製・配布、テレビ放送) <p>[課題と今後の対応]</p> <p>地域の観光資源を活かした具体的な戦略展開 ⇒観光拠点等整備事業費補助金(観光商品磨きあげ事業)による竜串観光の継続したPR</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 38 土佐清水市まるごと戦略観光展開事業(土佐清水市)</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・GWイベント「ジョン万海の元気まつり」の開催(入場者数:4,300人) ・香港国際旅行展に「四国の秘境」として出展し、現地旅行者や一般来場者にPR(6/12~6/15) ・元気プロジェクト直営レストランスペースの見直しの検討開始 ・「四万十・足摺エリア特産品販売応援団」の認証商品のPR、アイテム数の拡大に着手 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>地域の特性、資源を活かした体験型プログラムの造成 ⇒観光団体、事業者等の観光人材育成塾への参加</p>
<p>■No. 39 四万十市の地域資源を活かした通年・滞在型観光の推進(四万十市)</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四万十花絵巻の開催(菜の花、桜、花菖蒲、紫陽花) 来訪者26,000人 宴参加者500人 ・モニターツアー受入27人(遊覧船14人、蛍3人、幡多フェス5人、レンタサイクル5人) ・産振アドバイザーを招聘して、西土佐を舞台とした自転車イベントの企画及び情報発信を検討 ・緊急雇用:4事業16人 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>通年・滞在型観光に向けた観光商品の開発 ⇒観光団体、事業者等の観光人材育成塾への参加</p>
<p>■No.41 黒潮町の地域資源を活かした体験型観光の推進(黒潮町)</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・砂浜美術館Tシャツアート展開催(5/2~5/6 14,260人) ・作品見つけの旅・春モニターツアーの実施(5/4~5/5 9人) ・黒潮町体験受入等に関する意見交換会の開催(6/13、14 14団体) ・高知短大での「黒潮町のアートを生かした地域振興」と題しての講演(4/10) ・RKC調理師学校での「さしすせそ」出前授業実施(6/12) ・スポーツ大会・合宿の誘致による宿泊客の増 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>体験プログラム指導内容のブラッシュアップ ⇒アドバイザーによる研修会の実施</p>

②上記以外で特記すべき取組 特になし

2 平成 24 年度産業振興推進総合支援事業費補助金の導入状況（交付決定又は採択事業）

単位：千円

取組	事業概要	総事業費（補助金額）
■No. 10 町内の持続可能な山林資源を活用した製炭事業（大月町）	・町内のウバメガシを使った備長炭生産による雇用創出 （製炭窯 4 基の整備）	18,261（12,174）
■No. 19 大月町種苗生産施設活用による県内産養殖種苗のシェア拡大（大月町）	・マダイ、シマアジの種苗生産体制確立による市場シェア拡大 （海上育苗施設の整備）	13,199（8,799）
■No. 18 キビナゴ加工商品の生産体制強化（大月町）	・地元水産物利用促進による浜値向上と雇用創出 （商品パッケージの磨き上げ、販売促進）	2,376（1,187）
■No. 16 宗田節の販路拡大に向けた取組（土佐清水市）	・宗田節の新商品の開発（補助対象外）やPR等による消費の拡大 （新商品を活用したPR、テレビCMの放送）	4,993（833）
■No. 35 水産物加工施設整備事業（黒潮町） ※ステップアップ事業	・魚醤の販売促進 （まるごと高知での市場調査、各種展示・商談会への出展）	2,072（1,000）

3 地域アクションプランの削除（予定）項目

[削除] ■No. 24 土佐清水知的財産産業化事業（土佐清水市）

（理由）

- ・H24.3月市議会で当初予算は承認・可決されたものの、当該事業の関連予算の執行停止を求める決議案が提出され、賛成多数により可決された。このため、事業実施の可能性を検討してきたが、実施は困難であるとの判断に至った。

4 県民参画に向けた取組

- ・中村商工会議所役員会（5/15）、西土佐商工会総会（5/18）での第2期計画、土佐の産業おこし参加プラン及び土佐MBAの説明並びに産業振興計画シンポジウムの開催（6/9）のPR
- ・各市町村商工会（商工会議所）へ個別に訪問し、上記の説明及びPR（4月下旬～5月下旬）
- ・地域アクションプランの事業者に上記資料を個別に配布しPR
- ・対話と実行行脚の訪問先である土佐清水市及び三原村の事業者、地域団体等に上記資料を配布・説明
- ・産業振興シンポジウムの開催地である四万十市のJA高知はた、観光協会及び事業者等にシンポジウムのチラシを配布しPR
- ・大月町の広報誌4月号で町内のアクションプランの取組の紹介、6月号で第2期計画、土佐の産業おこし参加プラン、土佐MBAの紹介
- ・四万十市の広報誌6月号、土佐清水市の広報誌6月号及び黒潮町の広報誌6月号で土佐の産業おこし参加プランの紹介
- ・宿毛市の広報誌6月号で土佐MBAの紹介
- ・幡多信用金庫と産業振興に関する包括協定を締結（8/2）

5 相談案件：3件

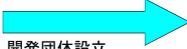
NO.	相談日	事業種別	相談内容
1	4/4	観光	養老馬の受入れ環境と、馬との触れ合う環境整備。
2	5/7	観光	四万十川沿いに季節の花を植栽した観光スポットづくり。
3	6/6	水産流通	「土佐の産業おこし参加プラン」の申請に関する相談。

【幡多地域】

項目	事業の概要	事業主体	第1期計画(H21~23)の取組の総括等		主な内容
			総括	課題	
24 土佐清水知的財産産業化事業 《土佐清水市》	土佐清水市独自の自治体向けコンピューターソフトを他の自治体に販売するとともに、新たなソフト制作やメンテナンス等を行える人材を育成し、地域内所得の向上、雇用創出、ならびに各種産業振興への波及効果を目指す。	・(株)土佐清水元気プロジェクト ・土佐清水市			◆開発団体設立 ◆システム開発販売、保守及び改修等 ◆代行業務の請負



削除

第2期計画					指標及び目標	
	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)
 開発団体設立 (株)土佐清水元気プロジェクトに知的産業関連部門を創設					雇用者(臨時・パートを含む) システム開発	5人 20種類
 システム開発販売、保守及び改修等 施設・設備等の整備						
自治体向けシステム開発・販売・保守・改修						
自治体への商品(パッケージ)開発・販売						
民間事業者等向けシステム開発・販売・保守・改修						
 代行業務の請負						
各自治体等の入力・印刷事務の請負						



削除